

JAL退職者の交流集会の報告

7月29日に大田区産業プラザPIOにて「JAL退職者の交流集会」が開催され職種、組合を超えた117名の方の参加で行われました。現役の方からの職場の実態の報告、OB機長の荒木、丸山さんの「JAL再建放談」ライブ版、集会参加者全員での意見交換を行い「安全第一」の再建を求める「経営への提言」が集会の総意として確認されました。集会後の懇親会には67名の方が参加、交流を行いました。

整備、客乗、運航の現場からの報告

(ライン確認整備士)

- ・整備部門は全てJAL ECという整備の子会社に移管され若い整備士が育っていません。
- ・機体ドアに装着されている脱出スライドに安全装置がついたまま開かない状況で運航されてました。
- ・急減圧の際に使う乗客用の酸素マスクのフローインジケーターが逆につけられ酸素が出てこない状況で取り付けられていました。
- ・貨物ドアが開いたまま飛行機をスポットから出発させることが起きました。
- ・ランディングギア（車輪式の着陸装置）の安全ピンを装着したまま離陸してしまいました。

(客室乗務員)

- ・賃金の大幅引き下げで月間100時間飛んでも生活は苦しくなる一方です。
- ・太平洋長大路線のロサンジェルスなどは1泊3日のパターンで体はボロボロになります。
- ・ドアモードの変更忘れ、食事カートの飛び出し、立ったまま着陸などの事態が発生しています。
- ・JALフィロソフィーの教育が年4回入り精神論が盛んですが、ものが言えない雰囲気になっています。

(B-767機長)

- ・今は出来高払いの賃金になり、フライトを休むと手取りが大幅カットされるので体調が悪くても無理して飛ぶ人が出ています。

・ヨーロッパ、アメリカ西海岸路線は1泊で飛ばされています。

・機長昇格訓練などが止められ、モチベーションが下がり人材の海外航空会社への流出も起きています。

・機長組合ではじめて執行部選挙が行われ、私たち「有志の会」から14名当選しました、問題点を地道に解決して行きます。

OB機長の「JAL再建放談」一刀両断

・「キャプテンアラーキの再建放談」というブログ <http://flyer414.blog9.fc2.com/> を出しJAL問題を一刀両断しています。

・OBも利用者の立場から安全運航について経営に物申すこと当然のことです。

・JAL破綻の原因は航空行政が根本的に間違っていたことにあります。

・整理解雇強行は組合活動家を狙い撃ちにしたものです。職場が荒廃し士気が落ちてはだめです、機長が先頭に立ってみんなの勇気を鼓舞し頑張ってください。

「安全第一」の再建を！「経営への提言」

参加者全員の意見交換を受け集会の総意として以下を確認しました。

- ①安全を無視したベテラン乗員の整理解雇の撤回。
- ②安全アドバイザーグループの提言を生かしチームワークやモチベーションを壊す「賃金抑制」「労働条件切り下げ」「コスト削減整備のための整備部門の分社化」などを見直す。
- ③安全運航に欠かせない技術の伝承ができるよう定年まで安心して働ける「企業年金」「健康保険」「EF」などの制度を維持させること。